

第 40 回全国フォークリフト運転競技 北海道予選会 実施細目

《 学科競技 》 10 時 00 分～10 時 30 分（早まる場合あり）

- 1) 競技は競技委員の指示で開始する。解答用紙にはゼッケン番号及び氏名を確実に記入すること。
- 2) 質問がある場合は、着席したまま手を挙げて競技委員を呼び、質問すること。
- 3) 解答を終えた者は、時間内であっても答案用紙を伏せて退席してもよいが、競技時間内の再入場は認めない。
- 4) 制限時間を 30 分とし、開始後 20 分を経過した時点で競技委員よりその旨知らせる。
- 5) 問題用紙はそのまま持ち帰っても差し支えない。
- 6) 競技終了時間になった時点で「競技終わり」の合図により終了する。運転・点検競技に必要な道具類（保護帽、点検ハンマー等）を携行して 1 階ロビーへ集合すること。

※ 運転→点検の順で競技の説明後、ゼッケン順に競技を開始します。

《 運転競技 》

- 1) 競技に先立ち、競技委員がコース並びに作業の手順を説明するが、競技開始後は質問に応じない。
- 2) 乗車前、出発位置にて競技委員に競技番号と氏名を告げ、エンジンキーを受け取り、競技委員の指示により運転競技に入ること。
- 3) 競技時間は、標準時間を 5 分間とし最長を 7 分間とする。
なお、7 分間を超えた場合はその時点で競技を停止し、採点の対象外とする。
- 4) 競技時間は荷役レバーに手が触れた時点でスタート、降車時に両足が地面に付いた時点で計測を終了する。
- 5) 使用するフォークリフトにシートベルトが装備されている場合はきちんと装着する事。
- 6) 競技終了後は、引き続き点検競技を行うので係員に呼ばれるまで待機すること。
- 7) その他の事項については、事務局及び競技委員の裁量によるものとする。

《 点検競技 》

- 1) 労働安全衛生規則第 151 条の 25 で実施を義務付けられている作業開始前点検に準じ、あらかじめ設定した不具合箇所を競技者が発見して報告させる方法とする。
- 2) 競技に先立ち、競技委員が作業の手順及び注意事項を説明するが、競技開始後は質問に応じない。
- 3) 選手が点検車の前方で競技委員に競技番号と氏名を告げ、競技委員の指示により開始する。
競技時間は 5 分以内とし、終了 1 分前に競技委員が「残り 1 分」と告げ、終了時点で点検終了を告げるものとする。
- 4) 不具合箇所を発見した場合はその都度不具合箇所の名称及び不具合状態をはっきりと競技委員に報告すること。なお、不具合の原因まで報告する必要はない。
- 5) 不具合箇所を発見できない場合は減点とする。
- 6) 不具合でない箇所を不具合と報告した場合も減点とする。
- 7) 点検順序、点検動作、点検箇所の呼称の有無は自由とする。
- 8) 点検ではスタートキーを回すが、エンジンは始動させないこと。また、油圧操作は絶対に行わないこと。
- 9) 選手は保護帽（ヘルメット）を着用のうえ、競技を行うこと。
- 10) 点検競技中は、必ず手袋を着用すること。
- 11) 競技終了後は、4 階大会議室にエレベータで直行し、そのまま待機すること。

※ 全ての競技が終わったら、4 階大会議室で待機すること。裏面もあり

服装及び携行品

- 1) 運転競技は作業に適した服装で、保護帽、安全靴を着用し、点検競技においては点検ハンマーを使用すること。
- 2) フォークリフト運転技能講習修了証、筆記用具、を携行すること。

※ 運転競技で使用するフォークリフトは、トヨタ 1.5 トン AT (8FD) を予定しています。

※ 点検競技で使用するフォークリフトは、トヨタ 1.0 トン (5F) を予定しています。